

社会福祉法人 ききょう会
吉沢学園

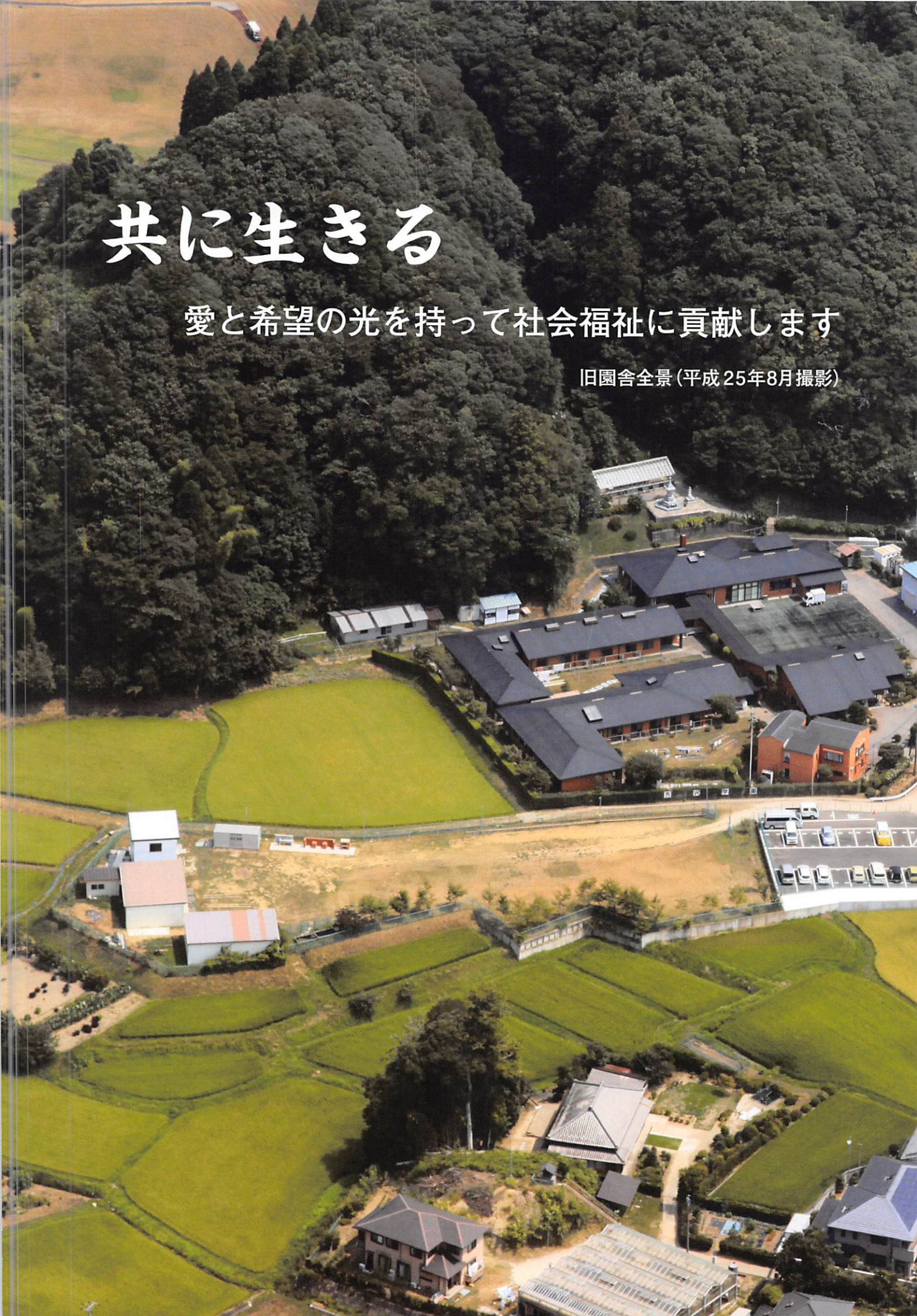
創立30周年記念誌



共に生きる

愛と希望の光を持って社会福祉に貢献します

旧園舎全景(平成25年8月撮影)





30th Anniversary

CONTENTS

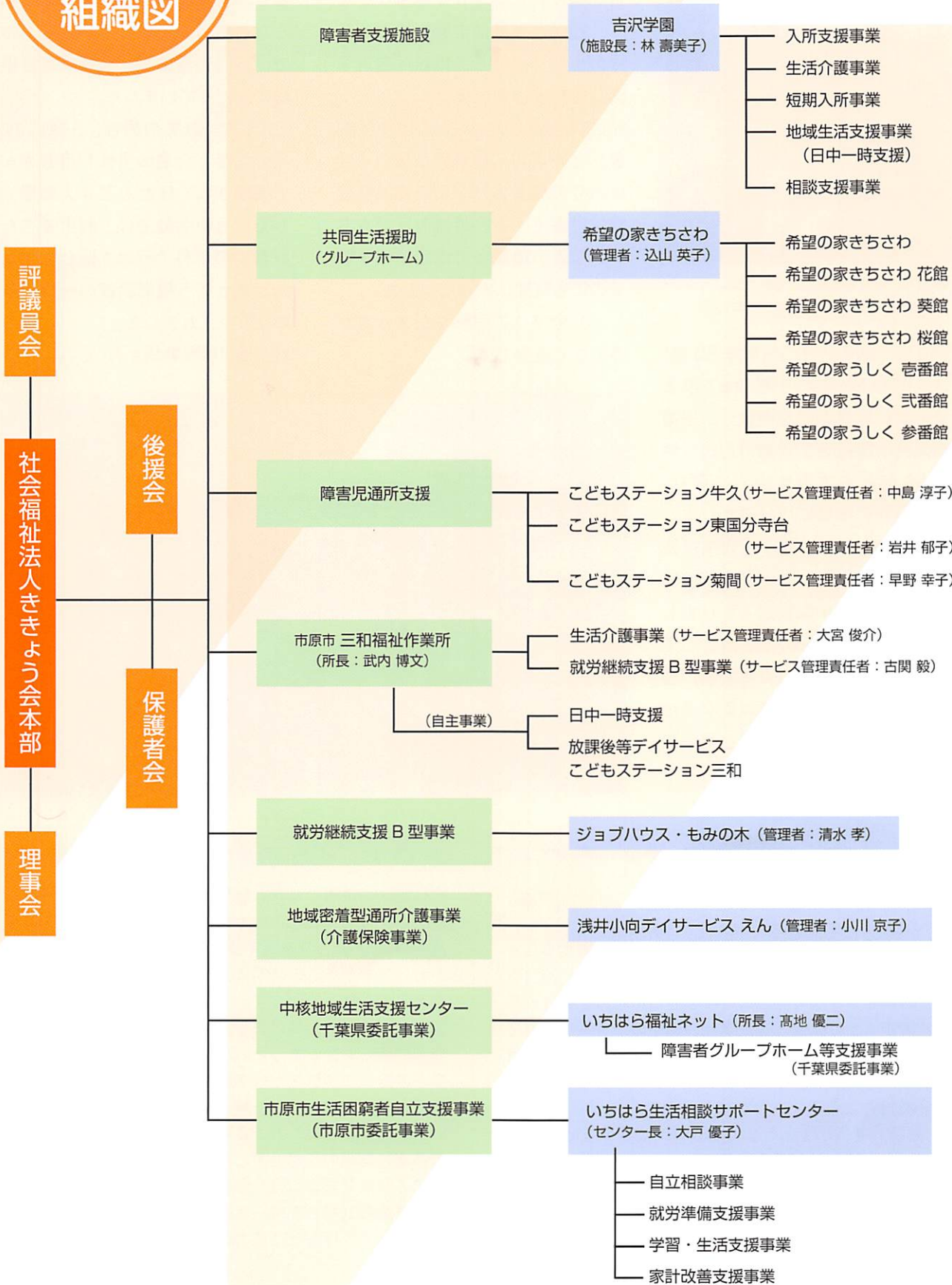
法人の歩み 沿革	2
社会福祉法人ききょう会 組織図	3
30年の歩み	4～7
障害者支援施設 吉沢学園	8～24
共同生活援助事業	
障害者グループホーム	25～28
市原市三和福祉作業所	29～31
こどもステーション三和	32
就労継続支援事業	
ジョブハウス・もみの木	33～36
中核地域生活支援センター	
いちほら福祉ネット	37～39
障害者グループホーム等支援事業	40
市原市生活困窮者自立支援事業	
いちほら生活相談サポートセンター	41～44
障害児通所支援事業	45～48
こどもステーション牛久	
こどもステーション東国分寺台	
こどもステーション菊間	
地域密着型通所介護事業	
浅井小向デイサービスえん	49～50
創立30周年記念イベント	51～56
平成30年4月22日	
ファッションショー	
平成30年12月16日	
祝賀会&クリスマス会	
平成31年2月23日	
加茂地区地域福祉セミナー	

法人の歩み 沿革

- 昭和63年8月 社会福祉法人ききょう会設立
- 平成元年4月 精神薄弱者入所更生施設
→後に知的障害者入所更生施設
吉沢学園開設 (定員50名)
- 平成2年8月 療育相談、短期入所事業 (2名)
- 平成8年7月 吉沢学園3棟 (2階体育館、増員20名) 完成 (定員70名)
- 平成12年9月 交流棟完成 (パン工房)
- 平成13年9月 社会生活・職業訓練棟 (牛久) 開設 福祉ショップきちさわ開店
- 平成18年4月 児童デイサービス「こどもステーション牛久」開設
共同生活介護 希望の家きちさわ開設 (定員4名)
中核地域生活支援センター
「いちはら福祉ネット」<千葉県委託事業>
吉沢学園グラウンド整備、有償運送事業開始、日中一時事業開始
- 10月 障害者グループホーム等支援事業<千葉県委託事業>
- 平成20年5月 社会生活・職業訓練棟 (牛久) 改修工事 福祉ショップ&喫茶もみの木開店
- 平成21年4月 共同生活介護 希望の家うしく吉番館開設 (定員4名)
- 平成22年1月 児童デイサービス「こどもステーション東国分寺台」開設
- 4月 共同生活介護 希望の家うしく式番館開設 (定員5名)
- 5月 就労継続支援B型「ジョブハウス・もみの木」開設
- 平成23年4月 市原市三和福祉作業所<市原市指定管理受託>
生活介護 (20名) 就労継続支援B型 (50名)
- 平成24年1月 吉沢学園新法移行
指定障害者支援施設 施設入所 (70名)
生活介護 (定員77名)、短期入所 (定員2名)
- 4月 共同生活介護 希望の家きちさわ増員増築
(定員5名)
小規模通所介護事業 (介護保険指定事業)
浅井小向デイサービス「えん」開設 (定員10名)
- 平成25年4月 吉沢学園定員変更 施設入所 (定員60名)
生活介護 (定員77名)、短期入所 (定員2名)
- 4月 共同生活介護 希望の家きちさわ花館開設 (定員5名)
共同生活介護 希望の家うしく参番館開設 (定員5名)
- 平成26年3月 吉沢学園建て替え工事着工、仮設棟への移動
- 平成27年3月 吉沢学園新園舎完成 (個室50室)、4月外構工事終了
- 4月 「こどもステーション菊間」開設
(児童発達支援・放課後等デイサービス定員10名)
「こどもステーション三和」開設 (放課後等デイサービス定員10名)
市原市生活困窮者自立支援事業 「いちはら生活相談サポートセンター」<市原市委託事業>
- 平成28年4月 吉沢学園短期入所定員変更 (定員4名)
- 平成30年4月 共同生活援助 希望の家きちさわ葵館&桜館開設 (定員各6名)
- 10月 「こどもステーション三和」事業増設 (児童発達支援・放課後等デイサービス定員10名)

社会福祉法人 ききょう会 組織図

〈平成30年4月1日現在〉



30年の歩み



創立者・初代理事長：林 光二(てるじ)
昭和63年8月～平成23年12月

創立者である林光二（享年89歳）は、昭和23年から昭和57年までの長い教員勤務を退職し、千葉市大宮学園長を2年勤めた後、昭和59年から市原市吉沢に戻り、法人設立の準備に取り掛かりました。昭和63年8月に社会福祉法人きぎょう会を立ち上げ、平成元年4月に吉沢学園開設となりました。その後、法人の理事長として施設のみならず、吉沢町会長、加茂地区町会長会長を務めるなど地域貢献も多く行い、地域と共に福祉活動を行ってきました。

当時養護学校を卒業した知的障害者を受け入れてくれる場所は少なく、初代理事長は市原市にある自分の土地を提供して施設「吉沢学園」を開設しました。

知的障害者がかつて、「精神薄弱者」と呼ばれ、差別的な扱いを受けたり偏見もあり、この地に施設開設計画をすると地域の反対もありました。地域との信頼関係を築くのに時間もかかりました。

しかし今ではご理解くださる方が多くなり感謝です。

吉沢学園開設当時は、50名の利用者さんとほとんど知的障害者知らない職員が対応していましたので、当時の理事長、園長が毎日指導に当たっていました。

1棟には30名の男性、2棟に12名の女性と8名の男性利用者さんで構成され、ほとんど4人部屋でした。日中活動では、利用者さんが若いので外で日光を浴びて体を動かすという機能訓練の一環で作業を取り入れました。

林産班で椎茸栽培を行い、



20年を振り返って

◆20周年によせて 前理事長の手記◆

皆様方に育てて戴きまして、今年で20年を迎えることができました。これもひとえに行政の担当課を初め、町会、理事会、保護者各位には積極的にご協力を戴き、深く感謝申し上げます。吉沢学園の誕生の頃を振り返ってみて、一番思い出深いことは、当時県庁の担当課に4月から8月中旬まで、事務の打ち合わせの為毎日のように通い続けたことです。この様子を見ていた県職員から、「出勤簿」を置いてあげましょうか、と冗談を言われたほどでした。またショックだったことは、開設にあたり施設の土地を提供すること、建築資金を提供すること、理事長は無給ですと聞かされたことです。これを聞いた多くの協力者や妻は、自分達に障害者がいるわけでもないのに納得がいかないと嘆いたものでした。

次は施設の位置でした。施設は市街地の近くで、道幅は9m以上であることという条件には大変困りました。運良くゴルフ場との協議で道路を早急に造ることになったわけですが、この時期ほど有難さを感じた時はなかったと今でも覚えています。しかし道路を造ることは、学園とは関係ない土地にまで及びますので、地主さんとの交渉問題にも悩みました。ひとつの事業を起こすことは、多くの方々に迷惑をかける結果となりますので、安易な気持ちではできないし、絶対に成功させなければならないと、強く意を決したことを思い出します。おかげさまで多くの皆様のご協力とご指導を戴き、無事20年を過ごすことができました。今後もさらに発展させるために常に感謝の気持ちを持って進んでまいりますので、今後とも末永くご理解とご協力のほどお願い申し上げます。



初代学園長の林 萃子（享年 90 歳）は、初代理事長と同じく昭和 23 年から長年の教員勤務でしたが、最後は千葉市立養護学校で約 13 年間勤めた後、吉沢学園設立準備を夫である光二と共に行ってきました。その後 17 年間学園長を務め、退任後も非常勤で数年間事務職に就いていました。



初代学園長：林 萃子（しげこ）
平成元年4月～平成18年3月



平成元年から平成 14 年までは措置制度時代で、開園当時は学園生活をスムーズに行うことに大変な苦労があったと聞いています。病気や怪我をしても自分の症状を的確に伝えることができない利用者さん達ですから、学園長は職員に、毎朝毎晩検温を欠かさないことや、顔色、行動の観察を指導していました。夜勤も当初は各棟二人体制で行っていましたが、時々無断外出される方の捜索で大変な時もありました。

当時の職員は山から原木を切ってきたと聞いています。大きな原木運びや植菌作業を得意げに行う利用者さんもいて、年齢が高くなってもその作業は忘れずできています。また、稲作作業も行っていて、最初は皆で田植えや稲刈りもしました。その後は機械を導入しましたが、水田は地域で空いている田んぼを貸していただき、少しずつ広がっていきました。できたお米は学園の給食に出しますが、地域に販売もしていきました。他にはリサイクル班の缶つぶしや廃油から石鹼を作ったり、縫製班、農耕班、園芸班に分かれて作業をしていました。パン工房ができたのは平成 10 年に交流棟ができたときに、製パン作りを始めました。行事等も多く取り入れ、ひな祭り、五月の節句、七夕、運動会など行っていました。中でも夏の納涼祭とクリスマス会、毎月のお誕生会は毎回趣向を凝らして楽しんで頂いています。



30年の歩み



理事長：林 壽美子
平成24年1月就任～

平成6年に吉沢学園に入職した現在の理事長は、平成18年から吉沢学園の施設長として就任、平成24年に理事長となりました。

前職は東京の会社で9年勤めた後、自分の会社を立ち上げ6年間働いていました。

前理事長から呼ばれ、吉沢学園に入職したときは措置の時代でしたが、平成15年から支援費制度が平成18年まで続き、その後障害者自立支援法が施行され、平成25年には障害者総合支援法になるなど、福祉の環境が目まぐるしく変化していきました。



ききょう会としてはこの変化に柔軟に対応するため、法人の改革を行うことに舵を取りました。当時「法人」施設では今後やっていけないと言われた中、平成18年度から各事業所を立ち上げてきました。最初はグループホームの立ち上げです。しかし、施設から「出る」ことは保護者から難色を示されました。「せっかく入所できたのに」ということですが、皆様のご理解を



得てスタートしたグループホームも、平成30年には7軒37名の方が自分の個室を持ち、世話人さんの家庭料理で楽しい生活を過ごしています。



平成18年度から児童デイサービスの事業も立ち上げ、障害児のデイサービス「こどもステーション」を牛久で開設、その後、東国分寺台、菊間、三和と広がっていきました。平成22年に開設した「ジョブハウス・もみの木」は吉沢学園でパン作りが好きになった利用者さん達が、牛久のグループホームに移り、パン工房で働いたり、喫茶で働くなど日中活



動の場ができてきました。今では小湊鐵道のグッズの中に「ラスク」や「クッキー」を入れて販売させて頂いています。





平成 23 年 4 月から、当法人が市原市三和福祉作業所の指定管理者となりました。当法人としては成人の利用者さんが自立した日常生活を営むことができるよう、食事等の介護や創作的活動、就労の機会を提供する通所事業所運営は初めてでした。送迎サービスも大変でしたが、毎日通所される皆さんの笑顔に職員も励まされました。

さらに、平成 24 年には法人初め

での介護保険事業「浅井小向デイサービスえん」を開設しました。庭付き一戸建ての民家を改修した高齢者のデイサービス事業所です。定員 10 名の家庭的な場所で手作りの昼食が評判です。



平成 18 年から千葉県の委託事業で「中核地域生活支援センター いちはら福祉ネット」を受託しています。千葉県単独の事業で、24 時間 365 日体制で行う総合相談事業所で、子供、障害者、高齢者等「誰もがありのままにその人らしく、地域で暮らすことができる地域社会の実現」を目指して日々活動しています。



平成 27 年の生活困窮者自立支援法の施行により、市原市から委託された「いちほら生活相談サポートセンター」は自立相談支援をはじめ、就労準備支援、学習・生活支援、家計改善支援を行い、生活保護の対象にならないよう自立生活をご支援しています。

吉 沢 学 園 建 て 替 え 始 ま る

耐震化等整備費補助金を頂き設計は(株)INA 新建築研究所、施工は松井建設(株)で平成 26 年 3 月より解体工事を始め、6 月に地鎮祭を行い、平成 27 年 4 月に新築竣工となりました。工事中の約一年間は、仮設での生活で利用者さんにはご不便をおかけすることになりましたが、楽しい仮設生活でもありました。園舎が壊されていくのは寂しいものですが、4 人部屋から全室



個室になるワクワク感と職員側には戸惑い感もありました。利用者さん一人一人に目が届くのだろうかなど心配したのですが、出来てみれば職員も利用者さんもみんな笑顔の毎日です。

平成27年4月 新園舎完成
(平成30年7月撮影)





障害者支援施設
吉沢学園

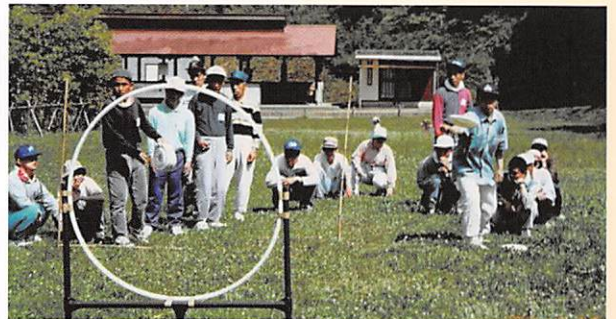
日常生活



▲平成2年 お散歩は吉沢町内にある鳳来寺観音堂へ



▲平成7年 今日の調理実習はパンケーキ



▲平成9年 フライングディスクの練習



▲平成3年 お誕生会



平成9年 防災訓練



▲平成5年 山倉こどもの国



▲平成11年 ディズニーランドで



平成5年
自転車に乗ってサイクリング



平成11年 千葉市のモノレールに乗りました



▲平成10年 棟内清掃の様子



▲平成17年焼き肉食べ放題の笑顔



平成19年 歯科検診の様子



平成20年 ファミリーレストランで外食



▲平成25年牛久のTマートで得々エコプラザ担当します



▲平成26年 幕張の球場で野球観戦



▲平成27年 今年も高滝神社で初詣



▲平成27年新園舎のデイルームで



▲平成28年 奉仕活動で地域に貢献



平成28年 グラウンドでデイキャンプ



平成20年 潮干狩り

日中作業活動

平成3年 稲刈りはみんなで協力します



平成3年 稲刈り後は皆で運びます



平成7年 作業前にはラジオ体操



平成7年 リサイクル班の缶潰し風景



平成9年 みんなで田植えをしました



平成9年 縫製班のミシン作業



平成12年 林産班のしいたけ植菌



平成12年 林産班の原木運び



平成 14 年 リサイクル班



平成 15 年 園芸ハウス内で水やり



平成 16 年 ハウス内で野菜作り



平成 16 年 しいたけの収穫



平成 19 年 パン工房でラスク作り



平成 22 年 パン班の作業風景



平成 24 年 リサイクル班の缶運び



平成 24 年 園芸班の収穫物



平成 29 年 原木運び



ききょう祭



▲平成3年
吉沢学園中庭にて
納涼祭のやぐら

▶平成3年
吉沢学園納涼祭で
わたあめ



▲平成3年 吉沢学園中庭で納涼祭 お揃いの浴衣



▲平成5年 吉沢学園中庭で納涼祭 盆踊り



▲平成5年 吉沢学園中庭で元気よく 盆踊り



▲平成8年
納涼祭の余興はカラオケ



▲平成6年 納涼祭で
地域の婦人会の皆
様と盆踊り



◀平成13年
吉沢学園納涼祭

▼平成17年 グラウンドで
納涼祭 音楽隊の行進

▶平成14年
3棟上の広場
で納涼祭





平成 19 年 納涼祭の演目はフラダンス



平成 19 年 納涼祭で輪投げゲームに挑戦



▲平成 22 年 第 1 回ききょう祭が始まりました



▲平成 24 年 第 3 回ききょう祭の夜は盆踊り



▲平成 25 年 第 4 回ききょう祭で花火大会



▲平成 29 年 今年も多くの方がききょう祭を楽しんでいます



▲平成 30 年 女性達がフラダンスを踊りました



▲平成 30 年 第 9 回を迎えたききょう祭 食事はみんな楽しみです

スポーツ大会



▲平成1年市のスポーツ大会にて

平成6年 整列してスポーツ大会に参加



▲平成6年 フライングディスク大会で入賞しました

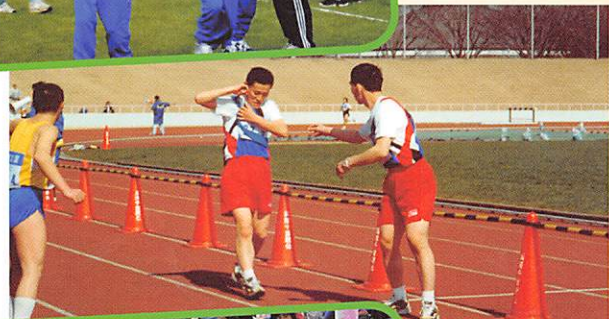


▲平成7年 県のスポーツ大会に参加しました

◀平成10年 うまく取れるかな？



▲平成8年FD大会でメダル取れました



▲平成12年 駅伝大会で襷をつなぎます



▲平成11年 シティマラソンに参加



◀平成19年 応援席で

平成16年 運動会で玉入れ競技



▶平成20年 フライングディスク大会で昼食の様子





◀平成 22 年
県のスポーツ
大会で集合！

▶平成 22 年
市原市障害者
スポーツ大会。
協力してゴール
を目指します



平成 23 年 県のスポーツ大会にて
みんなで百足になりました



平成 24 年 加茂市民体育祭にて

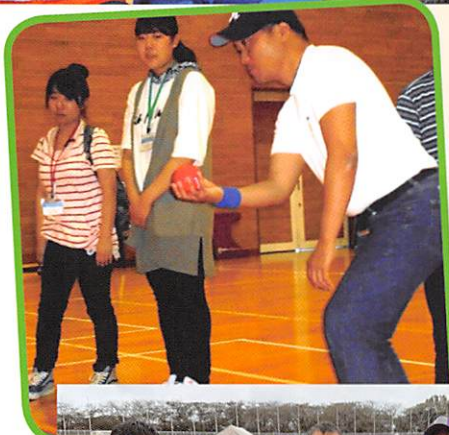


▲平成 26 年
千葉ナイス
ハート運動会
にて



▲平成 25 年
ふれあいスポー
ツの広場に参加

◀平成 27 年
フライング
ディスク、
上手に投げ
られました



◀平成 28 年
よく狙って！

▼平成 30 年
仲間と参加
した運動会！



平成 29 年 地域の運動会で踊りに参加



園外活動



◀平成元年
お花畑の前で



▶平成2年
ひめはるの里
に行きました

平成4年 一面の花をバックに



◀平成6年
館山旅行の様子



◀平成8年
旅館でカードゲーム



▲平成8年
サッカー観戦で
ひいきのチームを
応援!

平成10年 親子旅行、昼食はビュッフェスタイルで



▲平成11年
親子旅行でディズニ-
ランドへ

▶平成14年
キャンプ場で食事の準備



平成15年 たくさんのあさがりとれました



◀平成16年
一泊旅行で
記念写真



▲平成 17 年
ひめはるの里で
みんなと一緒に



▲平成 18 年
観覧車をバックに



◀平成 19 年
エネルギーパークで電気の勉強



▲平成 20 年 キングサーカスに
行ってきました



▲平成 23 年 ポリショイサーカスが
やってきた!



▲平成 24 年
動物園の前で
パシャリ



▲平成 25 年 キッズダムの芝生でお弁当



◀平成 27 年
家族と一緒に
中華街

▶平成 28 年
幻想的なイルミ
ネーションを見学



▲平成 29 年 家族と一緒に横浜へ



▲平成 30 年 上野動物園で記念写真

クリスマス会

Christmas party



▲平成7年 学園中庭でクリスマス会



▲平成22年 クリスマス会で乾杯!



▶平成19年
クリスマス会

◀平成20年
クリスマス会
は20周年記
念の祝賀会と
一緒に行いま
した



▲平成23年 利用者と職員でつくりあげた
クリスマス会



▲平成24年クリスマス会で
職員と一緒にダンス



▲平成25年クリスマス会に
保護者サンタが来ました



▲平成26年 クリスマス会で輝く星



▲平成28年 クリスマス会で
マルバツクイズ



▲平成29年 今年も楽しいクリスマス会でした



▲平成2年 端午の節句にて



▲平成2年
キャンプの料理
はカレーです



▲平成2年 七夕飾りの前でパチリ



◀平成2年
こいのぼりと
記念撮影



▶平成3年
成人式にみんな
で揃って行
きました



▲平成4年 こどもの国の入り口で記念撮影



▲平成4年 鬼は外! みんなで楽しく豆まきです



◀平成6年 いこいの村たてやまで合宿

▼平成8年 茂原の七夕まつりに行ってきました

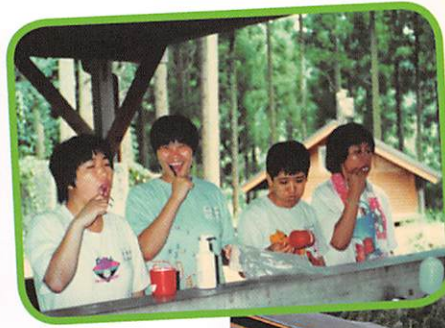
平成7年 やっぱり夏は潮干狩り!



思い出いろいろ



▲平成9年 キャンプの朝食はいつもよりおいしいな



◀平成9年 キャンプでも
しっかり歯磨きします

▼平成9年 作業前の中庭で
フライングディスクの練習



▲平成9年 キャンプファイヤーはいつまでも思い出に残ります



▲平成12年 宿泊訓練に行った先で散策

▼平成14年 潮干狩りは楽しいな



▲平成10年 こどもの国でお花見



◀平成16年
ほら、大きい
でしょう！

▼平成16年 ビーズ
教室で熱心に教えて
もらいました



▲平成16年 収穫祭、みんなで掘ろう！





▲平成 18 年 お楽しみ会での食事風景習



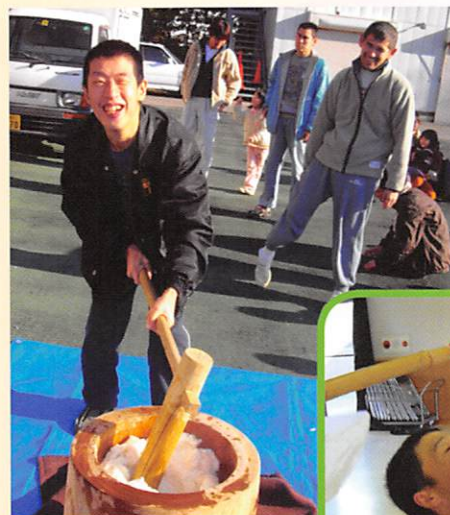
▲平成 20 年 お茶会の外出で、大多喜城に行きました



▲平成 22 年 音楽隊の演奏と一輪車の発表です



▲平成 22 年
クリスマスチャリティーコンサートに行きました



◀平成 22 年
餅つきで最高の笑顔

▶平成 22 年
公園でみんなと散策

▼平成 22 年 交流会
でパン食い競争



▼平成 23 年
福祉まつりの見学です



▲平成 23 年
みんなで選挙に
行きました

◀平成 23 年
袖ヶ浦公園に
仲間と一緒に
行きました



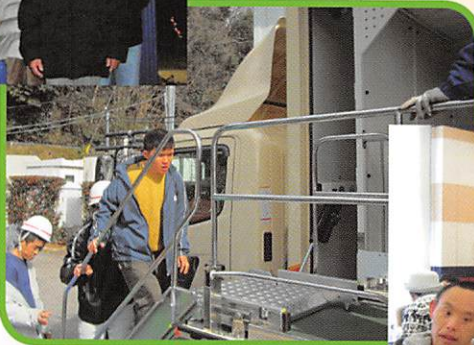


◀平成 24 年
市原のイルミネーション
は綺麗だよ



▶平成 24 年
地域でゴミ拾いの
奉仕活動

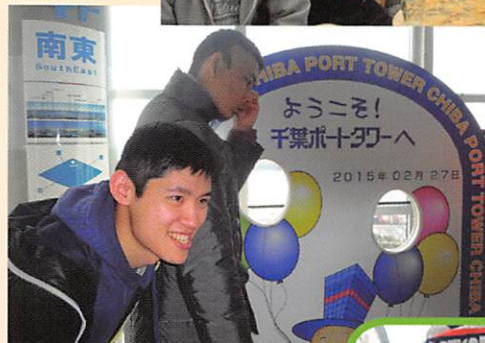
▶平成 24 年
起震車体験。
ドキドキだけど大丈夫



▼平成 26 年
今年は亀山ダムの桜を
全員で見に行きました



▲平成 24 年
お楽しみ会で
カラオケ大会



◀平成 27 年
千葉ポートタワーに
のぼりました



◀平成 28 年
5 月生まれの
誕生者のお茶会



▶平成 29 年
デイキャンプで
料理に挑戦



▲平成 29 年 ふれあい福祉フェスタでチーバ君と記念写真



▲平成 30 年 新しい 3 棟のメンバーで外出



共同生活援助事業
障害者グループホーム

日グループホーム



障害を持った方が少人数で共同生活を送るグループホームは、平成18年4月の希望の家きちさわ開設を皮切りに、平成21年に希望の家うしく壱番館、平成22年に希望の家うしく弐番館、平成25年に希望の家うしく参番館ときちさわ花館、そして平成30年に希望の家きちさわ桜館と葵館が順次開設されました。日中はそれぞれの場で活動し、夜は自由に自分の時間を過ごしています。休日には地域のお祭りや車での遠出、さらに宿泊旅行に行くなど楽しい毎日を過ごしています。

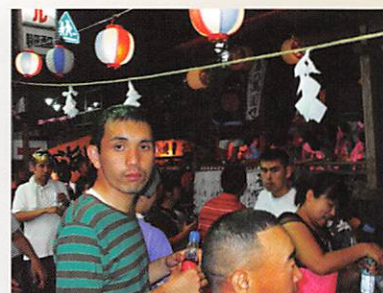
▲平成18年 希望の家きちさわは、当法人初の新築グループホームです



▲平成20年 浅草雷門の見学や隅田川をクルーズして楽しみました



▲平成20年 きちさわ食事風景



▲平成20年 地域のお祭りに参加



▲平成21年 開設のうしく壱番館は平成25年に増築しました



▲平成22年 うしく弐番館外観



▲平成22年 弐番館のホームでの食事風景



▲平成22年 歓迎を受けて思わずニコリ



▲平成24年 グループホームで伊豆に旅行



▲平成24年 ホームの仲間と野球観戦



▲平成 25 年 きちさわ花館外観



▲平成 25 年 うしく参番館外観



▲平成 25 年 美術館のオブジェの前で



▲平成 25 年 東京ディズニーランドに行きまし



▲平成 26 年 ワンデーマーチでウォーキング



▲平成 27 年 ぽっぽの丘には電車がたくさんありました

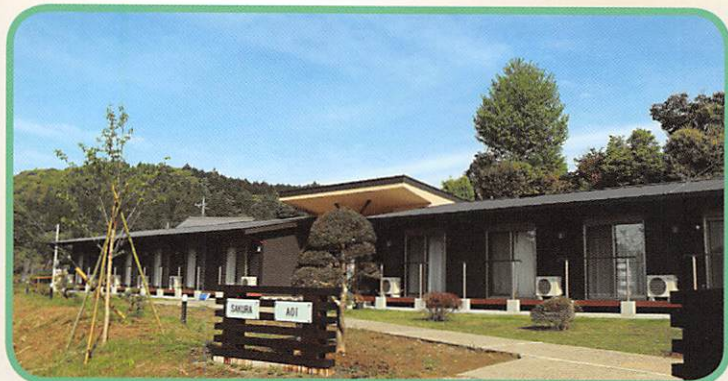


▲平成 28 年 バーベキューに
ほっぺたが落ちました

▼平成 28 年
宴会もやりました！



▲平成 28 年 宿泊したホテルで食事



▲平成 30 年 きちさわ葵と桜館ができました



▲平成 30 年 葵 & 桜館の仲間たち



▲平成 30 年 自分の部屋は自分でお掃除



▲平成 30 年 スポーツイベントにも積極的に参加



▲平成 30 年 犬吠での一泊旅行



▲平成 30 年 地元の神社でお花見



▲平成 30 年
おそろいの浴衣で食事

▶平成 30 年 外出先での食事



▲平成 30 年 喫茶「もみの木」で仲間と一息



市原市三和福祉作業所
こどもステーション三和

市原市三和福祉作業所



平成 23 年 4 月より、当法人が市原市三和福祉作業所の指定管理者となり、生活介護と就労継続支援 B 型の多機能型通所事業所として運営しています。生活介護は、理学療法士を含む個別支援体制に取り組み、就労継続支援 B 型は、受託・農園芸・調理などの作業を行っています。



▲室内でポッチャの練習

▶室内作業を皆で頑張っています



▲調理班はいつもおいしい昼食を作ってくれます



▲木工作業



▲受託の作業風景

▶野菜が出来て嬉しいです

▼農園芸ハウス



▲農園芸ハウス内での作業



▲平成 23 年 初めてのサマーフェスティバルを開催



▲平成 23 年 餅つき大会



▲平成 24 年
クリスマス会



▲平成 24 年 生活介護の皆さんの春の散歩

▶平成 26 年
春の遠足は
羽田空港見学です



▼平成 27 年
さわやか芸能発表会



▲平成 27 年
親子遠足は鴨川シーワールドで楽しみました



◀平成 29 年
サマー
レクリエーション



▼平成 29 年
クリスマス会



▲平成 29 年 ハロウィン



こどもステーション三和

平成 27 年 4 月から市原市三和福祉作業所内に、放課後等デイサービス事業を始めました。小学校から高校卒業までの児童・生徒の平日の放課後と土曜日や祝日、夏休みなどの長期休暇の日中活動の場として、遊びや学習、社会見学など行っています。さらに平成 30 年 10 月から就学前の児童を対象とした、児童発達支援を開設しました。



▲平成 28 年 東京ドイツ村に行って楽しみました



▲平成 29 年 ハロウィンパーティーの始まりです



▲平成 30 年 初めての流しそうめん。みんな大はしゃぎです



平成 27 年から市原市三和福祉作業所内に「こどもステーション三和」を開設しました

▶平成 29 年 昭和の森に遠足です。お弁当タイムが一番うれしいかな



▲節分には大きな声で「鬼は外」



▲見て！仮装したよ、誰かわかる？



▲平成 30 年 室内でクリスマスカード作り。思い思いの素敵なカードが出来ました



就労継続支援事業 B 型
ジョブハウス・もみの木

就労継続支援事業B型



▲平成17年 福祉ショップ「きちさわ」の外観

平成13年9月に開設した「福祉ショップきちさわ」は、平成20年5月に福祉ショップ&喫茶もみの木としてリニューアルオープンしました。店内パン工房で焼き上げたパンやラスク、地域の野菜を中心に手工芸品なども販売しています。喫茶では、ランチサービスや飲み物、デザートの提供を行っています。地域の方々に愛される喫茶店を目指し、利用者さんと一緒に活動しています。



▲平成18年 ショップで学園バザーを開催



▲平成19年
毎朝水やりして
お掃除もします

▶平成20年
もみの木の店内で
集合写真



▲平成20年
福祉ショップ
「もみの木」として
リニューアルオープン

▶平成20年
もみの木の棚には
たくさんの商品が
あります



▲平成20年「いらっしゃいませ」とお水をだします



▲平成20年 もみの木の中にパン工房があります。出来立てパンが好評



▲平成21年 もみの木で恒例の学園バザー



▲平成 25 年
お店らしい飾りをするよう
になりました

▶平成 25 年
小湊鐵道のグッズには皆で
作ったラスクが入っています



◀平成 25 年
パン工房で
ラスクを作って
います

▼平成 23 年
たくさんのパン
を作れるよう
になりました



平成 23 年
鶴舞の郵便局前で、木曜朝市にパン販売



平成 25 年
もみの木外観 & 集合写真



▶平成 25 年
もみの木でバ
ザーを開催。
多くの方に来て
いただきました

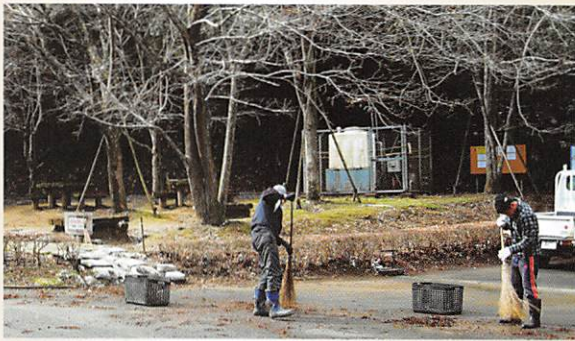


▲平成 25 年
喫茶で新メニューできました。
「和風きのこ」はいかが？

◀平成 27 年
毎週土曜日にパンバイキング
始めました

▶平成 27 年
パン工房の制服がピンクに
変わりました





▲平成 27 年 大福山の清掃を請け負っています



▲平成 28 年 小湊鐵道へ販売するラスク作りは大変です



▲平成 28 年 鶴舞の介護老人保健施設「クレイン」へ販売に行きます

▶平成 29 年
デリバリーを
始め、近くの
消防署などに
お届けします



◀平成 30 年 評判になった「パンバイキング」学園の皆さんも来てくれます

▶B 型の作業として
今年も稲刈りして
います



▲「お待たせいたしました！」元気に頑張っています



▲小湊鐵道トロッコ列車

▶平成 28 年
もみの木
メニュー
(チーズイン
ハンバーグ)





中核地域生活支援センター
いちほら福祉ネット
障害者グループホーム等支援事業

いちはら福祉ネット

中核地域生活支援センターいちはら福祉ネットは、千葉県からの委託を受け平成18年4月に開設いたしました。障害分野に留まらず高齢や児童、働き盛りの方に至るまであらゆる分野・年齢層の相談に24時間365日体制で対応するという千葉県単独の総合相談です。さらに地域づくり活動や権利擁護も一体的に行うという当時の相談機関では画期的なものでした。法人が「地域福祉」を視野に大きく事業展開していく契機となった事業とも言えます。現在では、市町村へのバックアップ機能も期待されています。「誰もがありのままにその人らしく地域で暮らすことのできる」地域社会の実現を目指し、日夜奮闘しています。



事務所外観（五井駅前）
平成18年発足当時、
事務所は五井駅前に
ありました。



▲事業所内部
平成18年当時の事業所内部の様子です。



▲平成20年市原圏域広域タウンミーティング
開催。いちはら福祉ネットは開催に際し、
主導的な役割を担いました。



▲NHK取材
様々な困りごとをどのように解決していくか、
一つ一つ丁寧に話し合いが行われています。



NHK取材
平成21年中核地域生活支援センター事業が福祉
ネットワーク（NHK）で取り上げられました。その
際に取材を受けたのが、いちはら福祉ネットでした。

誰ひとり見捨てない

vol 2

～千葉 中核地域生活支援センター～



▲平成 21 年 障害部会 現在も続く中核地域生活支援センター連絡調整会(障害部会)です。



▲事務所外観(現在)
平成 23 年、現在の東国分寺台に事務所を移転しました。



中核地域生活支援センターシンポジウムの様子。
平成 25 年からは中核地域生活支援センター大会へと変わりました。



▲虐待防止セミナー 平成 26 年市原市より委託され、障がい者虐待啓発セミナーを開催しました。



▲平成 28 年 9 月 6 日、全国知事会が主催する「第 9 回先進政策創造会議」で中核地域生活支援センター事業が優秀政策(健康福祉分野)に選ばれ表彰されました。



▲この年はいちばら福祉ネットが実行委員長を務めました。

平成 29 年 11 月 20 日、地方自治法施行 70 周年記念式典にて、千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会が「行政に積極的に参画し又はコミュニティづくりに熱心に取り組んでいる民間団体」として総務大臣表彰を受けました。

▼総務大臣表彰の表彰状と楯です。



障害者グループホーム等支援事業

当法人では障害者グループホーム等支援事業を平成18年10月より千葉県から運営を委託され、障害者グループホーム等の体制強化・量的拡充・質的向上を図り、障害者の生活の質の向上と地域生活への移行を促進するために、日々支援ワーカーが活動しています。



第3回千葉県障害者グループホーム大会
平成23年度は、会場入り口に各圏域紹介のパネル展示を行い、グループホーム支援ワーカーの仕事を紹介しました。



平成24年度より、新規グループホーム開設希望者向けのセミナーを開催しています。



千葉県障害者グループホーム講座
平成29年度、南総地域の方々を対象としたグループホーム講座を開催しました。



第10回千葉県障害者グループホーム大会
平成30年度には、第10回目を迎えることが出来ました。この時のテーマは「グループホームの原点と未来」でした。



市原圏域障害者グループホーム等世話人研修会では、講義以外に実技も取り入れて開催しています。



平成30年度、千葉県立市原特別支援学校進路学習会で、障害者グループホーム制度の説明を行いました。



市原市生活困窮者自立支援事業
いちほら生活相談サポートセンター



広報

いちほら

ICHIHARA CITY since 1963

2015年(平成27年) 1438号
毎月1・15日発行

主な内容
第1回市議会定例会など……………2
市民大学の受講生を募集 など……………3
情報ページ……………4・5
PHOTOセレクション……………8

4月
15日

<市ウェブサイト>

市原市

<http://www.city.ichihara.chiba.jp/>



スマートフォン用サイトにアクセスできます。



気軽に相談してください

生活に困ったら、一人で悩むより、まず相談

いちほら生活相談サポートセンターを開設

4月1日に施行した『生活困窮者自立支援法』により、市では、生活に困窮している人の自立を支援するために『いちほら生活相談サポートセンター』を開設しました。借金や病気などで生活に不安があるときは、早めに相談してください。

生活困窮者自立支援法とは？

生活困窮者自立支援法

は、病気で働けない、自分に合った仕事が見つからない、借金への対応がうまくできないなど、さまざまな

まずは相談！『自立相談支援事業』

要因が重なって生活に困窮している人のために、それぞれの課題を解決することで、自立できるよう支援する法律です。

作成し、支えていきます。就職に向けて準備！『就労準備支援事業』

相談の結果、一般就労に向けた準備が必要と判断された人を対象に就労に向けた支援をします。

いちほら生活相談サポートセンターでは、生活に困窮している人が早期に自立した生活が送れるように、社会福祉士など専門性を有する支援員が相談を受けます。相談により、一人一人の状況に応じた支援計画を

援でステップアップし、就労につなげていきます。また、就労後も問題が解決するまで支援していきます。

いちほら生活相談サポートセンターの案内

相談日時 月～金曜日(祝日と年末年始を除く) 午前8時30分～午後5時30分

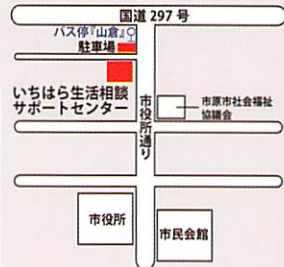
住所 東国分寺台3-10-15

電話 ☎ 3400

メール ✉ ichihara.sapo@zb.wakwak.com

バスで行くときは

五井駅東口/バス乗り場④の小湊バス『国分寺台』行きに乗車し、約15分。『山倉』で下車(バス停そばに同センターがあります)。



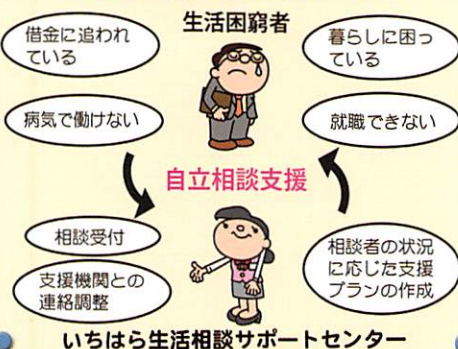
早期の対応で自立をサポート

いちほら生活相談サポートセンター
センター長 大戸 優子さん

生活保護に至る前段階の人を自立できるように支援するのが私たちの役目です。生活上の問題が生じたらなるべく早く相談してください。抱えている問題を放置してしまうと、他の問題が絡み合って解決が困難になってしまうケースが多くあるからです。

直接窓口に来られない方には、訪問支援も行っています。支援員が一人一人に向き合って支援します。気軽にご相談ください。

《自立相談支援のイメージ》



問合せ先

いちほら生活相談サポートセンター
☎ 3400
☎ 9525

相談は、電話と、メール、いちほら生活相談サポートセンターの窓口で受け付けます。相談費用は無料です。

相談したいときは

生活保護を受ける前の段階の市内在住者で、生活の困窮により、最低限度の生活を維持できなくなる恐れのある人です。

相談は誰でもできるの？

支援期間は6カ月から1年程度です。

いちほら生活相談サポートセンターは、生活困窮者自立支援法の施行により市原市から事業委託を受け平成 27 年 4 月に開設しました。経済的にお困りの方や孤立状態にある方などの相談をお受けし、様々な制度や支援策を駆使し自立への支援を行っています。

前ページは、平成 27 年 4 月 15 号の「広報いちほら」に掲載されたものです。市民に広く知っていただくため、たびたび掲載されています。職員は6名でスタート。平成 30 年度は事業も拡充され、9名のスタッフと約40名の登録学習支援員がいます。



▲合同研修（平成 28 年）中核センターとの合同研修によりスタッフの資質向上を図っています。



▲カンファレンス（常時）
対応が難しい相談も多いため、常にケースカンファレンスを行い支援の質を担保します。



学習支援-3



学習支援-2



学習支援-1

- ▲「ほら、ここがこうでしょ？」
- ▲「あ、そっか！わかった！」
- ▲「復習もしっかりね！」

困窮世帯の中学生を対象に市内 4 か所で学習支援教室を開いています。英語と数学を中心に、教員 OB や大学生・地域住民が先生役。法人の職員も協力しています。

応援します、あなたの人生を！

事業内容
自立相談支援事業
住居確保給付金
家計相談支援事業
就労準備支援事業
子どもの学習支援事業

ひとりで悩まずに、ご相談ください。（相談無料 秘密厳守）

●まずはお電話を●
☎0436-37-3400

受付時間：平日 8時30分～17時30分
FAX: 0436-37-2710
<http://park10.wakwak.com/~ichihara.sapo/>

生活困窮者自立支援事業（市原市委託事業） **いちほら生活相談サポートセンター**



▲フードドライブ
市民の方からの善意を「食料支援」という形で活かします。

いちほら生活相談サポートセンター



相談場面（常時）
社会福祉士などの資格を持った専門性の高い相談員が、丁寧に相談に対応しています。



実務者ミーティング（平成 30 年）
千葉県内の生活困窮者支援のネットワークに参加し資質向上を図っています。



▲出張相談 1（平成 30 年）
必要な方に相談が届くよう、ハローワークや市関係課と連携し出張相談を行っています。



▲出張相談 2（平成 30 年）



▲RUN 伴（平成 30 年）
他団体との連携にも力を入れています。RUN 伴での給水所協力をしています。



▲▶毎年夏恒例！
学習支援に通う中学生と学習支援員たちが法人施設（吉沢学園）でバーベキューやレクで楽しめます。普段の教室とはまた違う笑顔が飛び交います。

◀毎年夏恒例！学習支援に通う中学生と学習支援員たちが吉沢学園のグラウンドでデイキャンプを行います。





障害児通所支援事業

こどもステーション牛久

こどもステーション東国分寺台

こどもステーション菊間

こどもステーション牛久

平成18年の4月に開設されたこどもステーション牛久では、季節の行事として小湊鉄道トロッコ列車の旅や地元で有名な桜の見学などを企画。地域の観光資源を活かしたり、地元の方々との関わりも大切に活動を行っています。日々の日課では、ゲーム等の集団活動や一人ひとりに合わせた個別支援を行い、社会性や協調性を育むお手伝いをしています。



▲平成21年 みんなでお花見楽しいな



▲平成22年 秋の遠足はキッズダムへ



▲平成23年 職員と一緒に七夕の飾りつけ



▲平成24年 マザー牧場で動物とふれあい



▲平成26年 流しそうめん会「うまく取れたね」



▲平成27年 節句会「鯉のぼりいっぱいだね」



▲平成29年 お相撲さんと遊ぼう「はっけよ〜い」



▲平成30年 トロッコ列車に乗りました

こどもステーション東国分寺台

平成22年1月に開設されたこどもステーション東国分寺台では、児童発達支援、放課後等デイサービスを利用する2歳～18歳までの子ども達と一緒に賑やかな毎日を送っています。調理実習、季節の行事、野外への遠足などを積極的に行い、楽しく、元気よく、笑顔のたえない事業所を目指しています。



▲平成23年 的当てゲームに挑戦！上手に当たるかな？



▲平成24年 マットで遊ぼう！



▲平成25年 風呂敷パラバルーン



▲平成25年 学園のグラウンドでデイキャンプ



▲平成26年
節分で鬼の
お面を作り
ました



▲平成27年 マザー牧場で乳しぼり体験



◀平成30年
ひな祭りお雛さまに
変身

▶平成29年
調理実習で
カレー作り



こどもステーション菊間

こどもステーション菊間は平成27年4月に開設されました。季節行事、調理実習、制作活動に加え、庭遊びや畑での野菜づくりなども行っています。また、お買い物体験やおやつ後のお皿洗いなど生活スキル向上に繋がるような活動も実施しています。



▲平成27年
マザー牧場で
お馬さんと会ったよ



▲平成27年
朝の会で
お名前呼び、
日課の確認



▶平成28年
みんなで集まり鬼決め中



◀平成28年
まつぼっくりを使ってリース作り



▲平成28年 千葉動物公園に遠足に行ったよ



▲平成30年
消防車と一緒に
消化訓練



◀平成30年
みんなで芋掘り

▶平成30年
大きなつま芋
がとれたよ!





地域密着型通所介護事業（介護保険事業）

浅井小向デイサービスえん

浅井小向デイサービス えん



平成 24 年 4 月に開設した浅井小向デイサービス「えん」は、庭付き一戸建ての民家を改修した高齢者のデイサービス事業所です。皆さんそれぞれに歩いてこられた人生があります。「えん」はその方の生き方・思いを大切にして、「ほっ」と安心して過ごしていただける場所でありたいと思います。



平成 25 年 町会長がそば打ちを披露



平成 25 年 毎日の昼食が楽しみです



平成 28 年 室内活動



平成 29 年 室内ゲームはいろいろ楽しんでます



平成 29 年 太巻き寿司を作って食べました



晴れた日には出かけます



創立 30周年記念イベント

平成30年4月22日ファッションショー

平成30年12月16日祝賀会&クリスマス会

平成31年2月23日加茂地区地域福祉セミナー

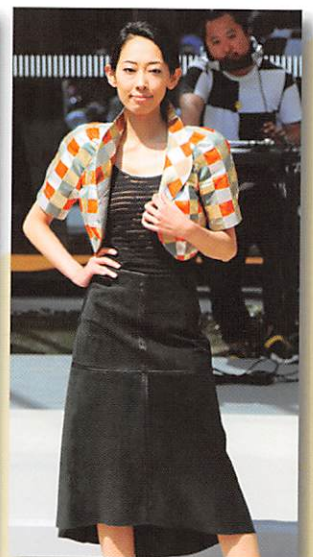
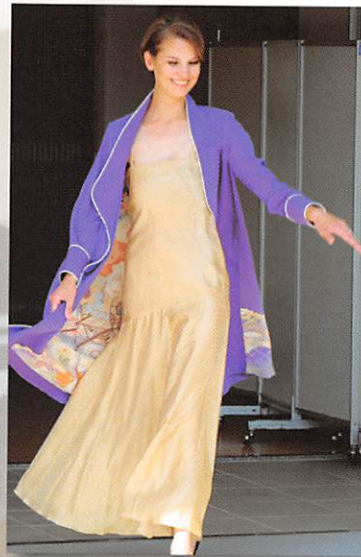
30th
Anniversary

創立30周年記念イベント

ファッションショー

社会福祉法人ききょう会と吉沢学園の創立30周年を記念して、平成30年4月22日に吉沢学園にて「ファッションショー」を開催致しました。

プロのモデルさんが、デザイナー NORIさんの創る絹の着物地からモダンでユニークな洋服の数々を披露してくれました。利用者さんはもちろん、保護者や法人職員も参加し、地域の皆さまと一緒に、笑顔と歓声で興奮したひと時でした。



プロ部門



スタッフ部門



30th Anniversary

創立30周年記念イベント

第一部 祝賀会



後援会会長：伊豆倉様



保護者会会長：楠田様



理事長：林壽美子

平成30年12月16日、オークラアカデミアパークホテルにて、創立30周年記念祝賀会を開催。利用者さん、保護者の皆様、法人内の職員合わせて340名の盛大な祝賀会でした。



勤続30年の清水さんと岩瀬さんが表彰されました。お二人とも前理事長と前園長との思い出が印象的で、30年があったという間に過ぎて行くと話されていました。また、吉沢学園に30年間ご協力頂いています3社の代表者に、感謝状と記念品を贈呈いたしました。



来賓には伊豆倉後援会長をはじめ、評議員の皆様方など親しい方々をお呼びいたしました。祝のステージでは、門戸竜二様が華麗な演舞をステージ上で披露して下さり、拍手喝采のひと時を過ごし、30年の歴史を皆さんと共有できました。



祝宴の舞：門戸竜二



創立30周年記念イベント

第二部 クリスマス会





社会福祉法人 ききょう会